

水田のかんがい用配水量の適正化を

齊藤 嘉和 議員



Q 例年6月の田植え時期には、多量の水を必要とする。滝川からの取水は、上流から榎町堰、滝川第2堰、滝川第1堰の3カ所から行っており、下流部の芝根地域まで植え付けが終わるのに10日前後かかっている。箱石、小泉方面への安定した用水の確保につ

いて、対策を講ずるべきだ。

A 町長 滝川統合堰協議会の管理者権限を高め、地域間の連絡を密にする

ことで、上流部での過剰取水を抑制させたい。また、ホールクロップサイレージ用稲や飼料作物、大豆等の戦略作物を積極的に栽培することで、問題をクリアしたい。

Q そのようなことでは解決策にならない。

A 経済産業課長 東がゲート付近から、新たな取り入れを行ってはどうか。

Q 取り入れにポンプアップを利用している

ので難しい。

ところもある。揚水ポンプで流す方法もある。

A 経済産業課長 考えてみたい。

Q 耕作者は、公平に水

利費を負担している。毎年繰り返す水の確保の苦

労を理解すべきだ。

A 経済産業課長 今後努力する。

Q 10月末には、続けて

2カ所の工場火災が発生したが、水利が十分でなく消火に時間を要した。

A 最近冬場に用水が流れていないところがある。この

時期の水は防火用水としての位置づけであり、目的を

果たすべきだ。

A 経済産業課長 留意する。



鯉沢下流のウォッチマンゲート

若い世代が町に住みたくなる施策を求む

三友 美恵子 議員



Q 第5次総合計画を達成するための、平成24年度予算における優先課題を問う。

A 町長 将来像の実現に向けて、地域経営の基本方針を「若い世代の転入促進」「生涯を通じた健康づくり」「固定費の圧縮」の三つに定め、その取

り組みを進めている。また24年度の重点施策は、「災害・防犯に対応する地域力のあるまちづくり」「1人1スポーツで健康と潤いのあるまちづくり」「地域経済の活性化で元気のあるまちづくり」「地域力を発揮する住民主役のまちづくり」に取り組む。

Q 「子育てするなら玉

村町」子育て支援を充実させる施策の一環として、住宅建設の際の利子補給制度の創設を求む。

A 町長 現在の人口

3万8000人を維持するために、子育て支援を充実させる施策の一環として、即効性があり、わかりやすい施策だと思

う。効果はあると思うが、問題

Q 子どもたちの安心安全

のための、学校給食の放射線量測定をどのように行っていくのか問う。

A 町長 運営委員会の

意思を尊重しつつ、住民活動がさらに加速的に発展するよう、施設機能の充実を図っていく。

Q 地域協働推進センターの今後の運営について問う。

A 町長 運営委員会の

意思を尊重しつつ、住民活動がさらに加速的に発展するよう、施設機能の充実を図っていく。

Q 子どもたちの安心安全

のための、学校給食の放射線量測定をどのように行っていくのか問う。

A 町長 運営委員会の

意思を尊重しつつ、住民活動がさらに加速的に発展するよう、施設機能の充実を図っていく。



命を守り、命を生かすために何ができるのか

備前島 久仁子 議員



Q 町内の避難所の機能は万全か。社会体育館は避難所に指定されているが、グラウンドがネットで覆われ、南側の道路から入れず、避難所として適切ではない。外トイレも使用できず不便だが。

A 町長 5つの小学校区と勤労者センター

に、それぞれ炊き出し用のかまどや簡易トイレなどを備えた防災倉庫がある。社会体育館のネットは外して災害時には避難できるようにし、外トイレも使用できるようにする。

Q 町内の放射性物質除染を検討しているのか。

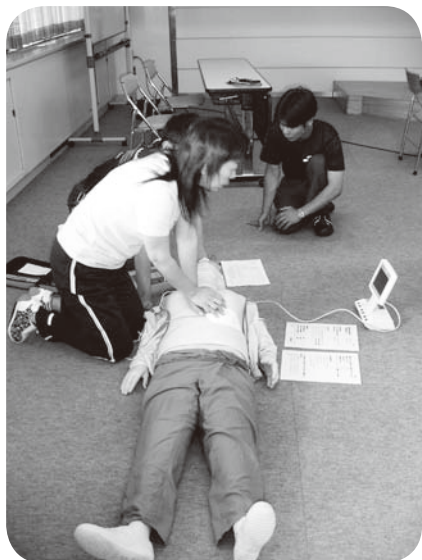
A 町長 町内の公共施設と地区公民館を測定した結果、除染対象となる地域はなかった。

Q 今回、小中学校に放射線測定器が購入されることになった。今後は、測定結果を伝え、安心して暮らせるよう努めてほしい。

A 町長 情報発信していく。

Q 突然の心停止により、命を落とす人がいる。救急車が到着するまでの時間は約6分。その間に、心臓マッサージやAEDを使って救命処置ができるかどうかは、講習会に参加しているか否かにかかっている。多くの町民に、講習会への参加を呼びかけるべきでは。

A 町長 消防署の庁舎を増築したため、玉村消防署で講習会が行えるようになった。各種団体にも広く呼びかけ、参加者を募りたい。



AED講習受講のようす

「想定外」のない町づくりを

原 幹雄 議員



Q 万一の場合、町の預貯金を守るため、どのような対策を行っているか。

A 町長 半期ごとに取引金融機関から経営情報の報告を受け、経営内容を把握している。預貯金の預け先も町内金融機関に分散し、万一の事態に備え

ている。借入金がある場合は、預貯金との相殺が可能だが、借入金のほうが多い町内金融機関は、現在ない。

Q 災害時、指定の避難集会所等を使えば、避難者の精神面に関して非常に効果が高いと思う。地域の集会所等の多くが老朽化している。町で整備していく計画はないか。

A 教育長 「地域コミュニケーション」に基づき、増築・改築・改修・修繕に関して補助を行っている。新築は補助の対象とならない。

Q 災害時に対応できるか、地域の集会所等の設備・備品の調査を行ったことがあるか。

A 生活環境安全課長 行ったことはない。

Q 通学路の点検、整備はどのように行っているか。

A 教育長 各学校が年度当初に策定する「学校安全計画」に基づき行っている。教職員による通学路の点検、PTAを中心とした点検、登下校時の確認などで問題箇所を把握し、区長さん等と協力して整備・改善に結びつけている。



通学路の整備と点検を